

# MBA クリティカル・シンキング

2013年4月10日



大阪市立大学商学部

宮川研究室



PA班 奥 川畑 神崎 小嶋

### ご注意

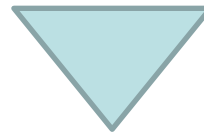
本資料は大阪市立大学および同大学院における講義に使用するため本学学生向けに作成された教材です。また、担当教員の講義を前提とし、講義や議論を進める上での補足資料として学生の理解を促進する目的で便宜的に構成されています。そのため本資料には講義内容や表題のトピックがすべて網羅されているわけではありません。また、本資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。したがって本資料は上記以外の目的や用途で使用しないよう厳重にご注意ください。

# プレゼンの流れ

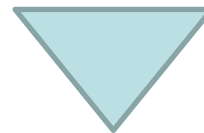
1. はじめに
2. 因果関係
3. ケーススタディ
4. まとめ
5. 感想

# 因果関係の把握の重要性

因果関係の把握



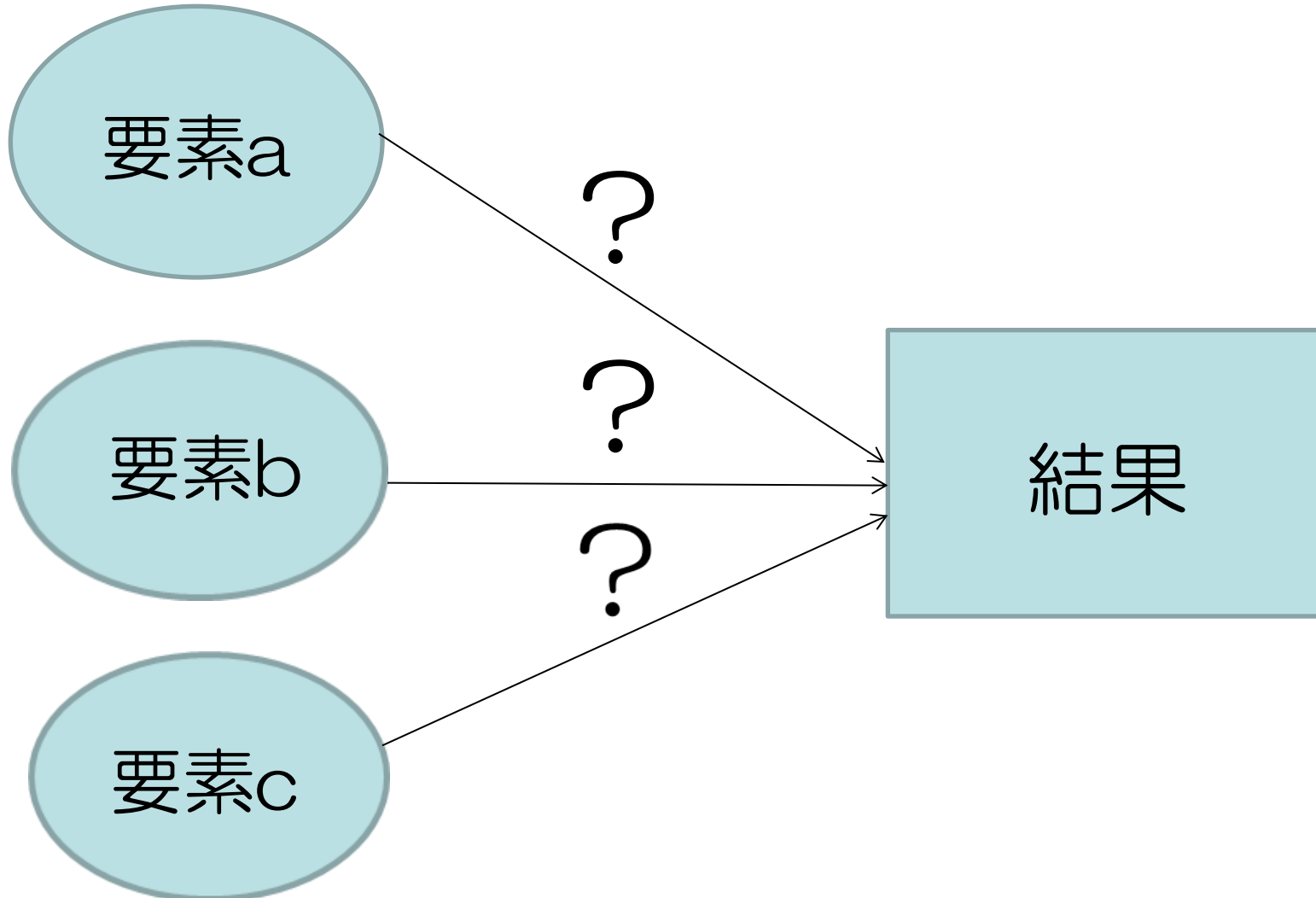
原因に応じた対応策



問題解決

1. はじめに
2. 因果関係
3. ケーススタディ
4. まとめ
5. 感想

# 因果関係とは



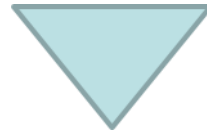
(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# 因果関係といえる条件

- 時間的順序が正しいこと
- 相関関係が存在すること
- 第三因子が存在しないこと

# 因果関係を考えるステップ

考えられる要因を具体的に洗い出す



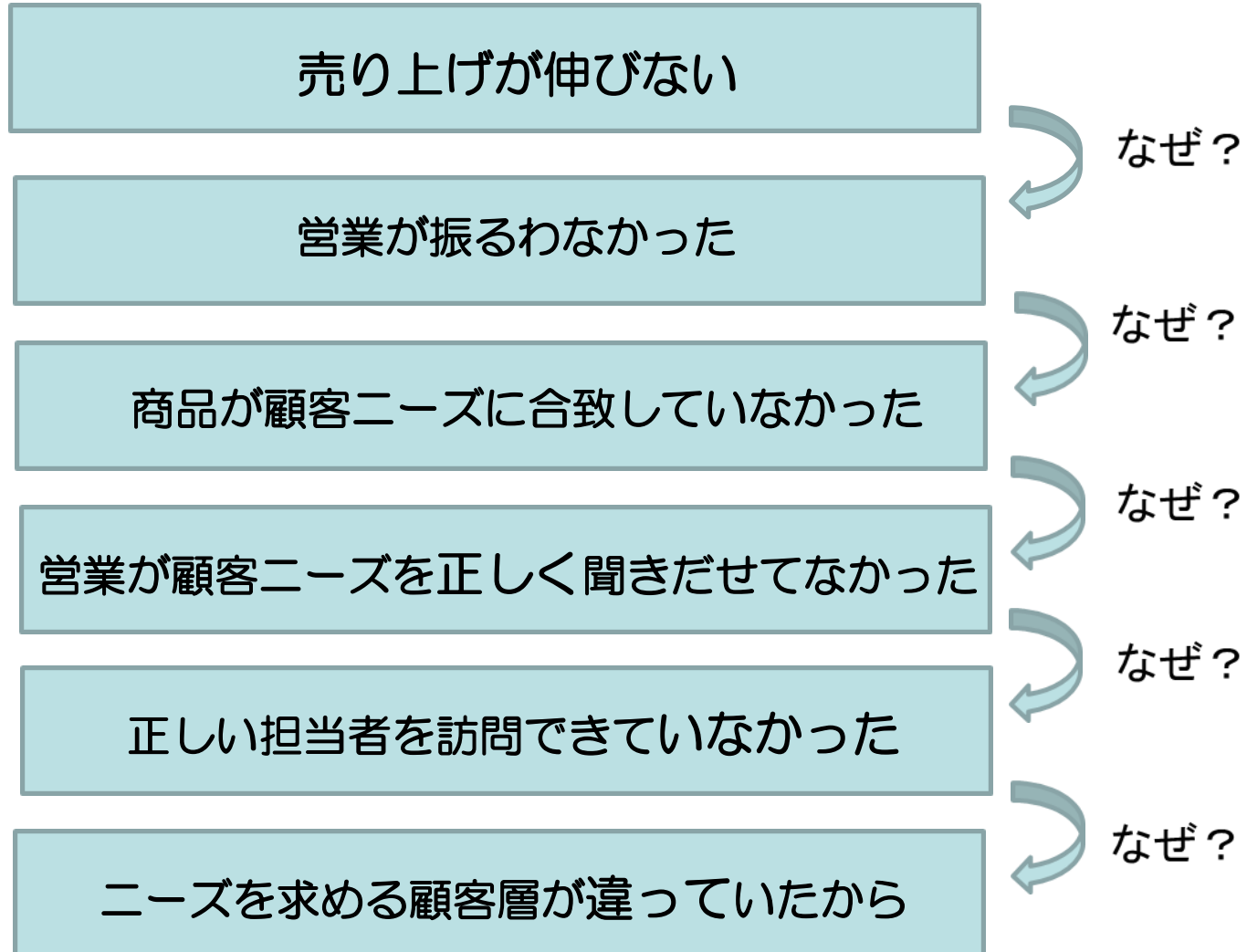
原因をさらに問い続け、  
因果関係を構造化する



# 要因を具体的に洗い出す

- 1つの要因から関連するその他の条件を考える
- 全く違う条件の要因がないか考える

# なぜ？を繰り返す (原因をさらに問い続ける)



MBAクリティカル・シンキングP159より引用

(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

1. はじめに
2. 因果関係
3. ケーススタディ
4. まとめ
5. 感想

# ケーススタディ

(例)

市立M高校サッカー部では、ある問題が浮上していた。

それは、過去2年間一度も勝てていないことである。

そこで、高校3年生の美人マネージャー神崎雄子は、チームの現状を打破しようとクラスメートの末歩助に相談した。



(ご注意) 本資料は大阪市立大学商学部宮川研究室におけるゼミ用教材を目的に作成したものです。資料には事実ではなく仮説として設定された内容が含まれています。これ以外の目的で使用することは固くお断りします。

# チームの勝てない要因

個人  
プレー  
が多い

チーム  
ワーク  
が悪い

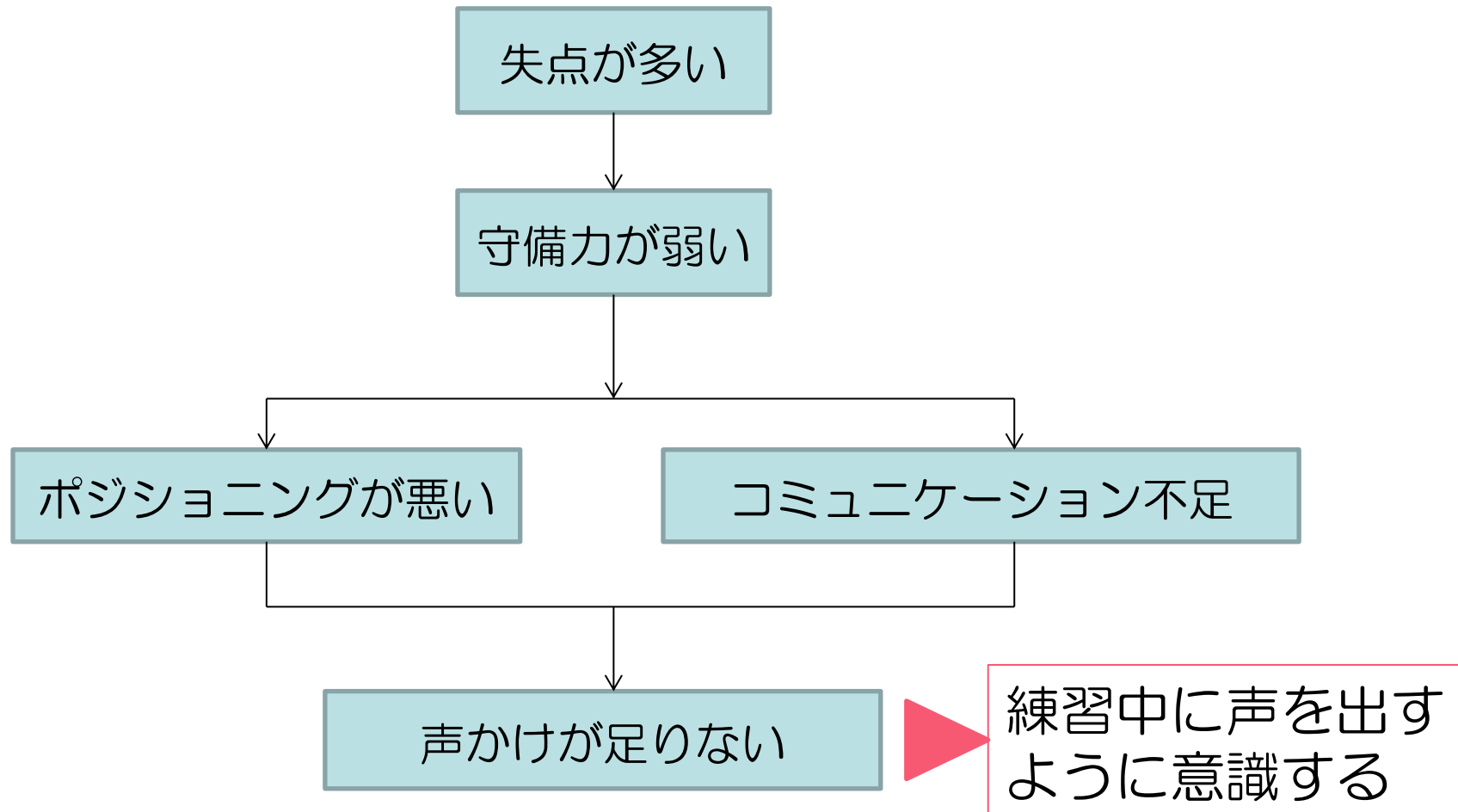
失点  
が多い

FW  
出身者  
が多い

個人の意  
識が低い

パスが  
回らない

# 原因を問い続け、構造化する



1. はじめに
2. 因果関係
3. ケーススタディ
4. まとめ
5. 感想

# まとめ

## ➤ 因果関係といえる条件

- 時間的順序が正しいこと
- 相関関係の存在があること
- 第三因子が存在しないこと

## ➤ 因果関係を考えるステップ

考えられる要因を具体的に洗い出す



原因をさらに問い続け、因果関係を構造化する



1. はじめに
2. 因果関係
3. ケーススタディ
4. まとめ
5. 感想

# 感想

- （奥）自分の考えを言葉にするのがすごく難しかった。
- （川畑）情報の共有が大切である。
- （神崎）チームでケーススタディの内容を詰める行程が難しかった。
- （小嶋）ただ本を読むだけでは理解できていないことが分かった。

ご清聴ありがとうございました。